

2025年、中小企業の大廃業時代に立ち向かう人材紹介コンサルティング

『後継者採用』と『結婚承継』、『幹部の人材紹介』で事業承継に関する中小企業経営者の悩みを一掃！

中小企業と伴走し、金融機関と連携した事業承継支援で数多くの実績を上げていく——それがヒューレックスグループ。「幹部の人材紹介」「後継者採用」「経営者・後継者の結婚支援(結婚承継®)」という3つのサポートで注目されている。

今、中小企業の大きな課題となっているのが後継者の不在だ。中小企業庁は2025年、日本の企業3社に1社、127万社が廃業危機に陥るという衝撃のシナリオを提示している。日本の企業の99%が中小企業であり、中でも70歳を超える中小企業経営者は245万人。その約半数は「後



代表取締役社長 松橋隆広氏(中央)
取締役 営業開発部長 佐藤文昭氏(右)
執行役員 金融機関サポートセンター長 / マリッジ株式会社しあわせ部長 浅野有史氏(左)

継者未定」なのだ。もしそれが原因で企業が廃業や倒産した場合、約650万人もの雇用が失われ、GDPの損失は約22兆円に及ぶ。その中には黒字廃業のケースも数多くあるといわれている。

事業承継トリプルサポートで最適な事業承継を選択

中小企業経営者が抱えるこの切実な悩みに寄り添い、地域の金融機関と連携を図って、事業承継・後継者採用の提案で高い評価を受けているのがヒューレックスだ。

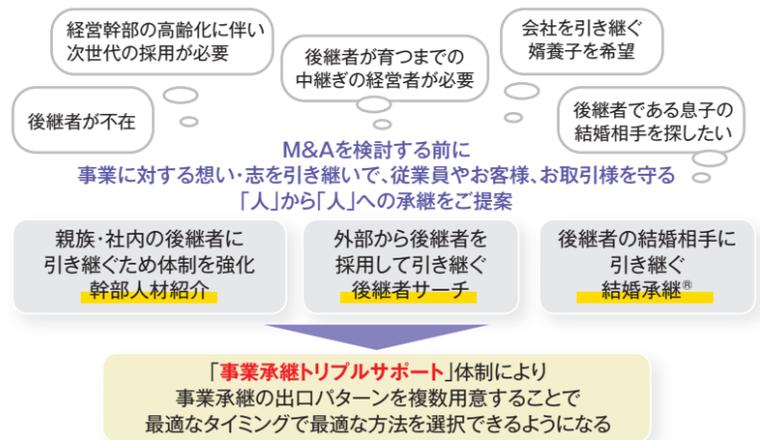
同社代表取締役社長・松橋隆広氏はその理由を次のように説明する。「通常の採用なら、人材紹介会社に依頼すれば、それなりの人材は確保できるでしょう。しかし後継者となれば

話は別。事業承継は会社の外に大きな影響を与える重要な秘密事項ですので、相談相手としては顧問税理士やメイバンクなどの金融機関に限られます。しかし、彼らは事業承継の相談を受けたことはあっても、後継者探しのノウハウはあまりありません。そこで土業や金融機関の依頼からヒューレックスの出番となるのです」

事業承継というと「子どもや親族に引き継ぐ」、「社内の役員や社員に引き継ぐ」、そして「M&A」が挙げられる。しかし、できればM&Aは避けたいと、経営者はひそかに悩んでいるケースは多い。

「私たちは、M&Aを検討する前に図1のように3つのパターンを想定。第1が親族や社内の人間に引き継ぐ場合、後継者の右腕役や中継ぎ役など「幹部人材の紹介」を行い、後継者を支える体制作りを支援します。第2が弊社独自のデータベース「後継者サーチ」による外部からの後継者候補の採用です。そして第3が後継者の結婚支援や後継者の結婚相手への事業承継(結婚承継®)です。これらを「事業承継のトリプルサポート」と命名し、中小企業の事業承継の課題解決方法をワンストップで提供しているのです」(松橋社長)。このトリプルサポートの長所は、同時並行で進め

図1 ヒューレックスグループの「人」から「人」への事業承継サポート



「私たちは、M&Aを検討する前に図1のように3つのパターンを想定。第1が親族や社内の人間に引き継ぐ場合、後継者の右腕役や中継ぎ役など「幹部人材の紹介」を行い、後継者を支える体制作りを支援します。第2が弊社独自のデータベース「後継者サーチ」による外部からの後継者候補の採用です。そして第3が後継者の結婚支援や後継者の結婚相手への事業承継(結婚承継®)です。これらを「事業承継のトリプルサポート」と命名し、中小企業の事業承継の課題解決方法をワンストップで提供しているのです」(松橋社長)。このトリプルサポートの長所は、同時並行で進め

ることができ、進捗状況を見極めながら経営者が最適な事業承継を選択できる点にある。

事業承継ファンドなどを活用し、後継者候補に時間をかけて引き継ぐことや、所有と経営を分離してホールディングス形式を探ることで、ビジネス資産として保有することも可能だ。また近年ではコロナ禍を機に、ワークスタイルや生活様式が変わり、地方都市に有能な人材がイターン、Uターンするケースが増加。後継者候補となる人材を迎え入れやすくなるという追い風も吹いている。

すでに数多くの成功事例(図2A参照)もあり、ヒューレックスには、中

小企業経営者はもちろん、各種金融機関や土業、コンサル会社からの依頼が急速に増加している。

同社営業開発部長の佐藤文昭氏によれば「2018年に規制緩和で金融機関の人材紹介事業が解禁されたことで、経営資源である「カネ」に加え、「ヒト」について企業へサービス提案が可能に。そこでヒューレックスが金融機関とチームを組んで、伴走しながらコンサルティングを強化する役割も担うようになっていきます」と説明する。今や提携金融機関は260に及び、今後も全国で増えていくと付け加える。

後継者の結婚支援II結婚承継®で経営者の悩みを払拭

同社の「事業承継トリプルサポート」で中小企業経営者から最も注目を集めているのが、「後継者の結婚支援II結婚承継®」だ。ヒューレックスで金融機関サポートセンター長を務める傍ら、結婚による事業承継を支援するグループ会社マリッジで、しあわせ部長を兼任する浅野有史氏は「経営者や後継者から最も喜ばれるのが、結婚承継が実を結んだとき」と言う。

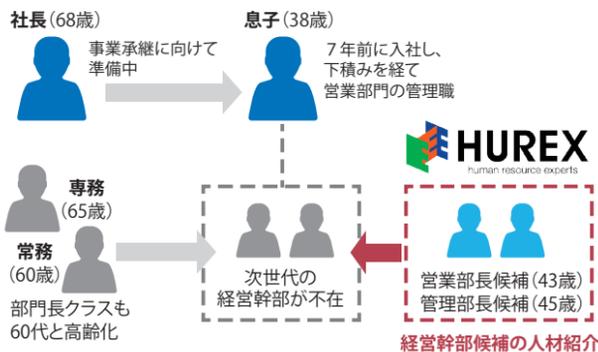
昨今ではさまざまな調査で、晩婚化が進み、「結婚しない経営者(後継者)」も少なくない。多忙で「婚活」の時間がないという声も聞かれる。マリッジの結婚相手紹介サービス(図2

B参照)では、金融機関が仲立ちし、企業経営に理解ある女性会員を経営者(後継者)の結婚相手として紹介したり、あるいは経営に興味のある男性会員を後継者候補として婿養子に迎えるケースもある。「成婚後、事業承継が実を結び、事業が好転するケースも数多くあります。その結果、中小企業と金融機関にWIN-WINの相乗効果をもたらし、地域社会活性化の貢献にもつながると考えています」(松橋社長)

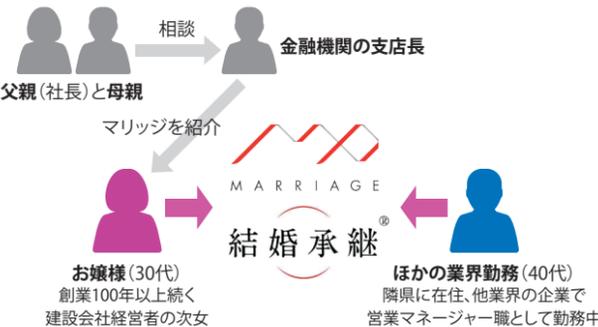
今やヒューレックスグループの事業承継トリプルサポートは「地方創生型ビジネスモデル」としても注目されている。

図2 次世代につなぐ事業承継事例

A 経営幹部社員の採用の事例



B 結婚承継(婿養子+後継者候補)の事例



お問い合わせ

ヒューレックス株式会社(後継者候補と幹部人材の紹介)
[仙台本社] 〒980-6117 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 アエル17階
電話 0120-14-1150
[東京本社] 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1 丸の内中央ビル10階
電話 0120-59-1150
<https://www.hurex.jp/>

マリッジ株式会社(結婚承継®)
[本社] 〒980-6117 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 アエル17階
電話 0120-81-4150
<https://www.mpartners.jp/>

後継者サーチ
SUCCESSOR SEARCHING SERVICE

結婚承継®

有料職業紹介事業(厚生労働大臣許可:04-ユ-010088)